

第9回 多摩市街路樹よくなるプラン改定委員会 要点録

日時： 平成30年11月30日（金） 14時00分～16時30分

場所： 多摩市役所本庁舎3階302会議室

出席者：【委員】（敬称略）

池邊 このみ 大石 武朗 大橋 久仁恵 清水 義功 仙仁 径 曾我 昌史
中尾 浩 野村 徹郎 沼田 真也

【事務局】

都市整備部長 森田
道路交通課長 内田
道路交通課整備保全担当主査 山本
道路交通課整備保全担当 芦澤・高橋

【傍聴】2名

議事次第

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 第8回委員会の振り返り
 - (2) 今後の委員会の進め方について
 - (3) 多摩市街路樹よくなるプラン改定版原案作成について
- 3 その他

1 開会

・森田道路都市整備部長より開会の挨拶

2 議事

(1) 第8回委員会の振り返り

1)事務局より資料-1 を用いて、標記議題に関する説明を実施

2)質疑応答

意見・質問はなし

(2) 今後の委員会の進め方について

1)事務局より資料-2 を用いて、標記議題に関する説明を実施

2)質疑応答

意見・質問はなし

(3) 多摩市街路樹よくなるプラン改定版原案について

1)事務局より資料-3 及び4 を用いて、標記議題に関する説明を実施

2)質疑応答

■第1章

委 員 : 1.1.2 の2行目舗装を隆起させる根上がり、は舗装を隆起させる「根上がり」と示してはどうか。

事 務 局 : 検討したい。

■第2章

副委員長 : 2.2.1 (1) 2段落目の「老木化に伴い生育障害が…」についてどのような障害が発生するのか不明なため、抜いてしまうか、「樹勢の衰え」等の文言を入れてはどうか。表現を検討してほしい

委 員 長 : 現行プランについて記載する場合は、現行プランの公開年次を併記するなど、古いデータであることを目立たせる表現にするよう検討をお願いしたい。

委 員 : 図表等における金額の単位は、市民に分かりやすいよう「千円」ではなく、「万円」とした方がよい。

副委員長 : 「草刈」と「除草」の違いは何か。図2-11等で分けて表示しているが合わせてもよいのではないか。異なる内容であったり、合わせることで与える印象が極端に変わるようであれば、変更する必要はない。

事 務 局 : 「草刈」は空地のような面積の比較的広い草地の草を刈り取ることを指し、「除草」は植栽柵内の草を根から手で抜くことを指す。作業対象やかかる労力が異なるため、表現については検討したい。

委員 : P.2-10 (2) の中でアダプトの登録団体数の記載があるが、最新情報にした方がよいのではないか。

事務局 : 最新情報に更新する。

副委員長 : 前回の委員会より「恒久的処置」とした文言について、「中長期的措置」といった表現の方が適切ではないか。

事務局 : 表現について再度検討したい。

委員 : 副委員長のコラム内容について、「生態系サービス」とは何か。

副委員長 : 人間が受ける「自然の恵み」のことを指す。生物多様性国家戦略などはこれが根本にある。

副委員長 : P.2-17 におけるメリハリの説明文の中で、「一律」から「画一的な」と表現を変えてはどうか。

事務局 : 表現について再度検討したい。

■第3章

意見・質問はなし

■第4章

委員 : 表4-2「美観を損なわない地被植物の活用」は、ネガティブな印象を与えるため、能動的な表現に変更してはどうか。

委員 : 地被植物の活用を示している頁を提示したらわかりやすいのではないか。

委員 : 注釈「植栽基盤整備」の説明がマイナスな印象を与える記載となっている。本来「植栽基盤整備」には土壌客土も含まれるので表現を工夫されたい。

委員 : P.4-7 で伐採後の切株はしばらく放置するとあるが、萌芽したり白アリが発生したりする懸念も考えられるため、表現を工夫されたい。

事務局 : 各指摘の事項について表現方法を検討したい。

委員 : P.4-9 において「植栽時における在来種選定ガイドライン」が紹介されているが、他の基準も確認の上、記載されたい。

事務局 : 確認して追記する。

委員 : 図4-5 地被植物導入の例示写真は、綺麗な写真に変更した方が良い。

事務局 : ご指摘の写真についてはより良いものがあれば変更したい。

委員 : P.4-13 に「多様な主体」とあるが、わかりづらいため、表現を工夫した方がよい。

事務局 : 前章の表3-1 で説明しているが、表現方法を検討したい。

委員長 : 「多様な主体」について、概要版ではもう少し柔らかい表現にできると良い。

委員 : P.4-16 のアダプト活動における参画の例として、「背丈までの…団体もあります。」とあるが、一般論的な記載であることや、合意書に基づいた団体の

みが対応可能であるのかが伝わるような文章とした方が良い。

事務局：表現方法を検討したい。

委員長：表 4-5～表 4-16 の中で、「現行プラン重点管理路線」と記載のある箇所は実施済みの項目を列記する、あるいは抜いてしまった方が良い。

事務局：信号の視認を妨げる箇所の対応等を実施しているが、表現は検討したい。

副委員長：表 4-8 等、評価Ⅱのところは「予算が増大する」とした方が良い。予算が増大することによって将来負担となることから、手を打たなければならない、ということが明確に示された方が良く考える。

事務局：「管理費用の増大」など、P. 4-18 の表現もふまえて対応を検討したい。

委員：表 4-5～表 4-16 の中で、主要樹種のレベル感（ソメイヨシノ、サクラ等の表記など）を統一すること。

事務局：ご指摘の点、承知した。

■第 5 章

委員：5.2.1 (1) の中で事業趣旨を看板やホームページで周知するとあるが、「たま広報」は利用できないのか。市民が最も目にする媒体であると思う。また、看板の記載はやめてほしい。

委員長：「たま広報」は表現する文字数に限界があることから、事業主旨の説明には適さないのではないかと思います。

副委員長：市民以外の方の目に留まる方法を採用することが望ましい。

事務局：ご指摘の意見を踏まえて検討して参りたい。

委員：5.2.1 (2) の中で街路において重点的に取り組んできたとあるが、交通障害の観点での取組であり、防犯の観点ではまだ取組む余地が大きいと思う。表現を工夫されたい。

副委員長：5.2.2 の 4 段落目「以上より、…」の文章は抜いてもよいのではないかと。

事務局：ご指摘の事項について、表現方法を検討したい。

委員長：表 5-1 の「達成することで」の後に 3 章を参照するのは、末尾として、しまりが悪い。再掲でも良いので、表現を工夫されたい。

委員：よくなるプランの集大成として、最後に 10 年間の概要プログラムを整理する等した方がわかりやすいのではないかと。表現を工夫されたい。

委員長：5 章については、委員長・副委員長と事務局の方で検討、調整したいがよろしいか。

委員：異論はない。

■参考資料

意見・質問はなし

■全体

- 委員：副題の「市民が誇る」は「市民が誇れる」にしてはどうか。
- 副委員長：「誇る」という表現にも良さがある。「市民が誇る」という表現のままで良いのではないか。
- 事務局：ご指摘を踏まえて検討したい。
- 委員：表紙の写真はもっと鮮明で美しい写真に変更してはどうか。
- 事務局：最終的な段階で対応できるか検討したい。
- 委員：コラム及び参考資料内に市民委員の名前・住まいの地区名は掲載して良い。(市民委員3名とも了承)
- 複数の委員：文言の統一や文体・体裁については全体を通して確認し、整える必要がある。
- 事務局：今後、対応して参りたい。
- 委員長：各委員は担当コラムを「ですます調」に統一するとともに、上手くおさまるよう文章を圧縮してほしい。

■概要版

- 委員：概要版はどのような使い方をするのか。
- 事務局：市民や市民以外の方が、よくなるプランの内容が一目でわかるような説明資料としての利用を想定している。
- 委員：A3裏表1枚にこだわらず、複数頁にすれば活字が大きくなり読みやすくなるのではないか。
- 委員長：結論・目指す姿「美しいみどりによって多くの人を惹き付ける」等を冒頭に提示すると印象的になる。
- 委員：5の内容が最も市民が知りたいと思う内容である。文字で表現するのではなく、将来イメージを示してはどうか。
- 事務局：御意見を踏まえて、検討、修正を進めたい。

3 その他

- 委員長：これまで委員会の中で多くの議論を交わしてきたが、どのような街路樹の取組が“街の資産価値を高める”ことに繋がるのか、『提言書』という形で市長に提示したいと考えているがどうだろうか。提言書の内容は、委員長、副委員長が中心となって作成したいが、いかがか。
- 委員全員：賛同する。

4 閉会

- ・内田道路交通課長より閉会の挨拶